TCM

2026 年度

東京音楽大学付属高等学校

音楽科

生徒募集要項

TCM
Tokyo College of Music High School
東京音楽大学付属高等学校

❶　募集要項
❷　入学試験
❸　入学試験科目と課題曲

目　次

❶　募集要項

1. 募集人員 …… 5
2. 募集専攻 …… 5
3. 出願資格 …… 6
4. 日程一覧 …… 7
5. 出願手続 …… 8
6. 出願書類一覧 …… 10
7. 入学検定料 …… 13
8. 合格発表 …… 13
9. 入学手続 …… 14
10. 学　費 …… 15
11. 教育充実協力金について …… 15
12. 奨学金制度・経済的支援制度 …… 16
13. 学生寮（女子） …… 16

❷　入学試験

1. 入学試験日程 …… 19
2. 入試試験場 …… 20
3. 練習室について …… 21
4. 入学試験当日に持参する物 …… 21
5. 緊急時における入学試験について …… 22
6. 併願について …… 22
7. 追試験について …… 23

❸　入学試験科目と課題曲

1. 推薦入学試験 …… 25
2. 一般入学試験 …… 35
3. 海外帰国子女特別入学試験 …… 45
4. 外国人特別入学試験 …… 47

❶ 募集要項

1. 募集人員
2. 募集専攻
3. 出願資格
4. 日程一覧
5. 出願手続
6. 出願書類一覧
7. 入学検定料
8. 合格発表
9. 入学手続
10. 学費
11. 教育充実協力金について
12. 奨学金制度・経済的支援制度
13. 学生寮（女子）

1. 募集人員（男女）

【推薦入学試験　募集人員】　第 1 学年 35 名
【一般入学試験　募集人員】　第 1 学年 35 名
【海外帰国子女特別入学試験　募集人員】　第 1 学年 若干名
【外国人特別入学試験　募集人員】　第 1 学年 若干名

2. 募集専攻

【推薦入学試験　募集専攻】

声楽専攻
器楽専攻　ピアノ演奏家コース特別特待奨学生
ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター
フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン
ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、アコーディオン
打楽器
作曲専攻
音楽総合コース
音楽総合コース・セルフデザインクラス

【一般入学試験　募集専攻】

声楽専攻
器楽専攻　ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター
フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン
ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、アコーディオン
打楽器
作曲専攻
音楽総合コース
音楽総合コース・セルフデザインクラス

【海外帰国子女特別入学試験　募集専攻】

声楽専攻
器楽専攻　ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター
フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン
ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、アコーディオン
打楽器
作曲専攻
音楽総合コース
音楽総合コース・セルフデザインクラス

【外国人特別入学試験　募集専攻】

声楽専攻

器楽専攻　ピアノ、ピアノ演奏家コース、ピアノ・創作コース
ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、ハープ、クラシックギター
フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォーン
ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、アコーディオン
打楽器

作曲専攻

3. 出願資格

【推薦入学試験　出願資格】

以下の（1）～（4）の条件をすべて満たす者。

（1）2026 年 3 月に中学校卒業見込みの者。
（2）本校への入学を第一志望とする者。
（3）出身中学校長が推薦する者。
（4）中学校 3 年間の 9 教科の評定（5 段階評価）平均が原則 3.2 以上の者。
※ 小数点第 2 位を四捨五入とする。

※ ピアノ演奏家コース特別特待奨学生の出願者は、実技指導者の推薦書と経歴書の提出が必要となります。

【一般入学試験　出願資格】

第 1 学年　中学校卒業者または 2026 年 3 月卒業見込みの者

【海外帰国子女特別入学試験　出願資格】

日本国籍を有し、保護者の海外勤務や本人の留学等による海外在住経験があり、以下の（1）～（4）のすべてに該当する者。

（1）日本の中学校第 3 学年に相当する学齢年齢以上であること。
（2）海外の中学校（日本人学校・現地校・国際校）を 2026 年 3 月までに卒業または卒業見込みの者、あるいは海外の学校教育機関における 9 年の課程を 2026 年 3 月までに修了または修了見込みの者で、日本の中学校卒業と同等であると本校が認めた者。
（3）次のどちらかの条件を満たす者。
①出願時に既に帰国している場合は、帰国した日から遡って継続して 1 年以上海外に滞在し、帰国後 1 年以内の者。
②海外在住中の場合は、出願時に継続して 1 年以上海外に在住し、2026 年 3 月末までに帰国予定の者。
（4）本校への入学を第一志望とする者。

※ 海外帰国子女で、2026 年度［推薦入学試験］および［一般入学試験］の出願資格を満たす者は、それぞれの入学試験に出願することができる。

【外国人特別入学試験　出願資格】

外国籍の者で、以下の（1）～（3）のいずれかに該当し（4）～（7）の条件をすべて満たしている者。
（1）外国の中学校またはそれに準ずる学校を卒業した者または 2026 年 3 月までに卒業見込みの者。
（2）外国において学校教育における 9 年間の課程を修了した者または 2026 年 3 月までに修了見込みの者。

（3）中学校を卒業した者と同等以上の学力があると本校が認めた者。
（4）本校への入学を第一志望とし、実技指導者の推薦がある者。
（5）入学時に『出入国管理及び難民認定法』による〈**留学**〉の資格を有すること。
（6）確実な身元保証人がいること。
※ 身元保証人は、原則として日本国内に居住し生計を立てている成年者で、受験者の学費と生活上の一切の責任を負うことができる者であること。
（7）本国の公的な機関で１年以上日本語を学習し、入学後、他の生徒と区別なく授業・レッスン等を受けるのに必要な日本語能力を有していること。
【日本語能力試験 N2（２級）以上】を有していることが望ましい。

注意）日本国籍を有しない者で、日本の中学校を卒業した者（卒業見込みの者を含む）は、外国人特別入学試験に出願することはできない。

＊海外帰国子女特別入学試験または外国人特別入学試験の受験を希望する場合は、出願期間より前に必ず本校入試係に連絡をしてください。
TEL. 03-3988-6214（日曜・祝日以外の 10 時～ 17 時）

4. 日程一覧

【推薦入学試験　日程】
出　願　期　間：2026 年 1 月 15 日（木）～ 1 月 17 日（土）
試　験　日　程：2026 年 1 月 22 日（木）～ 1 月 23 日（金）
合　格　発　表：2026 年 1 月 24 日（土）
入学手続期間：2026 年 1 月 30 日（金）まで

【一般入学試験　日程】
出　願　期　間：2026 年 1 月 26 日（月）～ 2 月 4 日（水）
試　験　日　程：2026 年 2 月 10 日（火）～ 2 月 11 日（水・祝）
合　格　発　表：2026 年 2 月 12 日（木）
入学手続期間：2026 年 2 月 20 日（金）まで

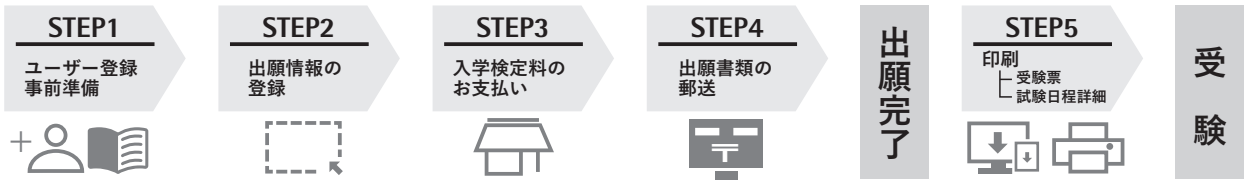
【海外帰国子女特別入学試験　日程】
出　願　期　間：2025 年 10 月 21 日（火）～ 10 月 28 日（火）
試　験　日　程：2025 年 11 月 23 日（日）
合　格　発　表：2025 年 11 月 24 日（月）
入学手続期間：2025 年 12 月 12 日（金）まで

【外国人特別入学試験　日程】
出　願　期　間：2025 年 10 月 21 日（火）～ 10 月 28 日（火）
試　験　日　程：2025 年 11 月 23 日（日）
合　格　発　表：2025 年 11 月 24 日（月）
入学手続期間：2025 年 12 月 12 日（金）まで

5. 出願手続

・出願の流れ

出願方法は Web 出願のみです。
本校公式 Web サイトの「受験」にある「出願サイト」内の「出願情報の登録」より下図の手順に沿って出願を行ってください。
※ 出願書類の郵送を終えて出願完了となります。



本校公式 Web サイト「出願ページ」ＵＲＬ https://lsg.mescius.com/tcm-koko/app
※ 詳しい利用方法は「出願サイト」内の［Web 出願サイトのご利用方法（PDF)］をご覧ください。

ＳＴＥＰ１

① Web 出願にあたっての事前準備。
□インターネットに接続しているパソコン、タブレット、スマートフォンのいずれかの機器
□メールアドレス

> 各キャリアのメールアドレスを使用する場合は、ドメイン「@mescius.com」「@sbpayment.jp」「@contact.mescius.com」「@tcm-koko.ed.jp」からのメールが受信できるように設定を行ってください。入学試験用に新たに作成される場合は、フリーメールアドレス「@yahoo.co.jp」や「@gmail.com] の作成を推奨します。

□PDF を表示・印刷するためのソフトウェアのインストール
□本人写真（カラー写真データ）
□プリンター
＊自宅にプリンターがない場合、コンビニエンスストア等のマルチコピー機を使用してください。

②「出願サイト」からユーザー登録を行う。
同サイト内の「出願情報の登録」の「Web 出願サイトはこちら」から Web サイトにアクセスし「初めての方はこちら」からユーザー登録を行ってください。
※ 以前に本校受験講習会で登録をしている方は再登録不要です。以前に登録したメールアドレスとパスワードでログオンしてください。

③出願書類を確認・準備する。
募集要項に記載されている出願に必要な書類を確認・準備してください。

ＳＴＥＰ２

「出願ガイド」から Web 出願サイトにログオンし出願登録を行う。
募集要項、「出願ガイド」を確認してから同サイト内の「Web 出願サイトはこちら」にアクセスし、ＳＴＥＰ１で登録を行ったメールアドレスとパスワードでログオン後、「出願」から出願登録を行ってください。

ＳＴＥＰ３

入学検定料のお支払い
「コンビニエンスストア」「クレジットカード」「Pay-easy」で、期限までに検定料をお支払いください。
※ 検定料のほかに支払い手数料が必要となります。

ＳＴＥＰ４

出願書類の印刷・記入および出願書類郵送

①「本校 Web サイト」→「受験」→「生徒募集要項」内より出願に必要な書類をダウンロードして、印刷・記入をしてください。出願書類がすべて揃っているかを確認してください。

②レターパックライトを使用して出願書類を郵送してください。

＊出願期間内の消印有効です。

★　出願書類の送付先：　〒 171-8540　東京都豊島区南池袋 3-4-5
東京音楽大学付属高等学校
電話番号　03-3988-6214

出願は郵送をもって完了となります。

ＳＴＥＰ５

受験票の印刷

本校より《受験票印刷のお知らせメール》が届いたら、受験票の記載事項が志願票に入力した内容と一致しているかを確認して、メールの案内に従って「受験票」を印刷してください。

試験日程詳細は別途メールにて送信しますので、内容を確認のうえ、試験会場にお越しください。

印刷した受験票は試験当日に必ず持参してください。

6. 出願書類一覧

【推薦入学試験】

出願書類		注意事項
1	入学願書	Web 出願
2	調査書（出身中学校において作成）	東京音楽大学付属高等学校 Web サイト「受験」→ 「出願書類」よりダウンロード→印刷して記入 ＊調査書と推薦書には公印を押印すること
3	推薦書（出身中学校長による）	
4	専攻別曲目記入票	本校 Web サイト「受験」→「出願書類」よりダウンロード →印刷して記入 ※ 器楽専攻（フルート、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム）、作曲専攻、音楽総合コース（作曲）、音楽総合コース・セルフデザインクラスは提出不要
5	伴奏譜（声楽実技受験者）	声楽専攻 ①「コンコーネ 50 番」No.5 ～ No.20 より任意の 2 曲のコピー譜 ②独唱曲 1 曲のコピー譜 音楽総合コース（声楽） ①「コンコーネ 50 番」No.1 ～ No.10 より任意の 1 曲のコピー譜 ②独唱曲 1 曲のコピー譜
6	伴奏譜（弦楽器実技受験者）	①ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスで伴奏が必要な曲の場合は、その伴奏譜（コピーした楽譜） ②音楽総合コース（弦楽器）で伴奏が必要な曲の場合は、その伴奏譜（コピーした楽譜）
7	創作楽譜（ピアノ・創作コースのみ）	
8	東京音楽大学学生寮申込書（希望者のみ）	本校 Web サイト「受験」→「出願書類」よりダウンロード →印刷して記入
9	ピアノ演奏家コース特別特待生の 実技指導者による推薦書（音楽歴を含む）	本校 Web サイト「受験」→「出願書類」よりダウンロード →印刷して記入

【一般入学試験】

出願書類		注意事項
1	入学願書	Web 出願
2	調査書（出身中学校において作成）	東京音楽大学付属高等学校 Web サイト「受験」→ 「出願書類」よりダウンロード→印刷して記入 ＊公印を押印すること
3	専攻別曲目記入票（一般入学試験用）	本校 Web サイト「受験」→「出願書類」よりダンロード →印刷して記入 ※ 器楽専攻（フルート、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム）、作曲専攻、音楽総合コース（作曲）、音楽総合コース・セルフデザインクラスは提出不要
4	伴奏譜（声楽実技受験者）	声楽専攻 ①「コンコーネ 50 番」No.5 ～ No.20 より任意の 2 曲のコピー譜 ②独唱曲 1 曲のコピー譜 音楽総合コース（声楽） ①「コンコーネ 50 番」No.1 ～ No.10 より任意の 1 曲のコピー譜 ②独唱曲 1 曲のコピー譜
5	伴奏譜（弦楽器実技受験者）	①ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスで伴奏が必要な曲の場合は、その伴奏譜（コピーした楽譜） ②音楽総合コース（弦楽器）で伴奏が必要な曲の場合は、その伴奏譜（コピーした楽譜）
6	創作楽譜（ピアノ・創作コースのみ）	
7	実用英語技能検定合格証明書	準 2 級以上
8	東京音楽大学学生寮申込書（希望者のみ）	本校 Web サイト「受験」→「出願書類」よりダウンロード →印刷して記入

【海外帰国子女特別入学試験】

出願書類		注意事項
1	入学願書（一般入学試験用と同じ）	Web 出願
※2	調査書（出身校において作成）	出身校の書式で可
	成績証明書（出身校において作成）	
3	本人の海外在住期間証明書	出身校または保護者勤務先で作成
4	専攻別曲目記入票（一般入学試験用と同じ）	本校 Web サイト「受験」→「出願書類」よりダウンロード →印刷して記入 ※ 器楽専攻（フルート、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム）、作曲専攻、音楽総合コース（作曲）、音楽総合コース・セルフデザインクラスは提出不要
5	伴奏譜（声楽実技受験者）	声楽専攻 ①「コンコーネ 50 番」No.5 ～ No.20 より任意の 2 曲のコピー譜 ②独唱曲 1 曲のコピー譜 音楽総合コース（声楽） ①「コンコーネ 50 番」No.1 ～ No.10 より任意の 1 曲のコピー譜 ②独唱曲 1 曲のコピー譜
6	伴奏譜（弦楽器実技受験者）	①ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスで伴奏が必要な曲の場合は、その伴奏譜（コピーした楽譜） ②音楽総合コース（弦楽器）で伴奏が必要な曲の場合は、その伴奏譜（コピーした楽譜）
7	東京音楽大学学生寮申込書（希望者のみ）	本校 Web サイト「受験」→「出願書類」よりダウンロード →印刷して記入

※ 2 は、調査書か成績証明書のどちらかで可

【外国人特別入学試験】

出願書類		注意事項
1	入学願書（一般入学試験用と同じ）	Web 出願
※2	調査書（出身校において作成）	出身校の書式で可
	成績証明書（出身校において作成）	
3	推薦書（実技指導者による）	日本語または英語で書式は問わない
4	専攻別曲目記入票（一般入学試験用と同じ）	本校 Web サイト「受験」→「出願書類」よりダウンロード →印刷して記入 ※ 器楽専攻（フルート、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム）、作曲専攻は提出不要
5	伴奏譜（声楽実技受験者）	①「コンコーネ 50 番」No.5 ～ No.20 より任意の 2 曲のコピー譜 ②独唱曲 1 曲のコピー譜
6	伴奏譜（弦楽器実技受験者）	ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスで伴奏が必要な曲の場合は、その伴奏譜（コピーした楽譜）
7	東京音楽大学学生寮申込書（希望者のみ）	本校 Web サイト「受験」→「出願書類」よりダウンロード →印刷して記入

※ 2 は、調査書か成績証明書のどちらかで可

7. 入学検定料

【推薦入学試験　検定料】	30,000 円
【一般入学試験　検定料】	30,000 円
【海外帰国子女特別入学試験　検定料】	30,000 円
【外国人特別入学試験　検定料】	30,000 円

出願期間内に Web 出願サイトから決済手続きをしてください。
お支払い完了後に決済完了メールが送信されます。
注意）納入済の入学検定料はいかなる理由があっても返還しません。

8. 合格発表

【推薦入学試験　合格発表】

2026 年 1 月 24 日（土）14 時

東京音楽大学付属高等学校 Web サイトで発表します。（3 日間確認可能）
※ 電話による問い合わせには応じません。

合格者には、合格発表後に入学手続書類を送付します。

【一般入学試験　合格発表】

2026 年 2 月 12 日（木）14 時

東京音楽大学付属高等学校 Web サイトで発表します。（3 日間確認可能）
※ 電話による問い合わせには応じません。

合格者には、合格発表後に入学手続書類を送付します。

【海外帰国子女特別入学試験　合格発表】

2025 年 11 月 24 日（月）13 時 30 分

東京音楽大学付属高校で対面発表をし、入学手続書類は直接手渡します。

【外国人特別入学試験　合格発表】

2025 年 11 月 24 日（月）13 時 30 分

東京音楽大学付属高校で対面発表をし、入学手続書類は直接手渡します。

9. 入学手続

【推薦入学試験】

・2026 年 1 月 30 日（金）までに下記の書類を郵送してください。
①誓約書（本校所定）　1 通
②住民票または住民票記載事項証明書　1 通
③生徒証用写真貼付票（生徒証用写真 1 枚を添付し必要事項記入）
④受験票（受験時に使用した受験票）
⑤その他本校が提出を指示した必要書類

・学費は 2026 年 1 月 30 日（金）までに必ず銀行振込で納入してください。
※ 手続方法の詳細は、入学手続書類に同封される《入学手続きについて（推薦入学試験）》をご確認ください。

【一般入学試験】

・2026 年 2 月 20 日（金）までに下記の書類を郵送してください。
①誓約書（本校所定の用紙）　1 通
②住民票または住民票記載事項証明書　1 通
③生徒証用写真貼付票（生徒証用写真 1 枚を添付し必要事項記入）
④受験票（受験時に使用した受験票）
⑤その他本校が提出を指示した必要書類

・学費は 2026 年 2 月 20 日（金）までに必ず銀行振込で納入してください。
※ 手続方法の詳細は、入学手続書類に同封される《入学手続きについて（一般入学試験）》をご確認ください。

・入学辞退について
入学を辞退する場合は東京音楽大学付属高等学校（電話 03-3988-6214）に必ず連絡をしてください。
2026 年 3 月 6 日（金）15 時まで
入学辞退手続き完了後に入学金を除く納付金を返還いたします。

【海外帰国子女特別入学試験】

・2025 年 12 月 12 日（金）までに下記の書類を郵送してください。
①誓約書（本校所定）　1 通
②パスポートの写し（氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限およびビザ（査証）のページをコピー）1 通
③生徒証用写真貼付票（生徒証用写真 1 枚を添付し必要事項記入）
④受験票（受験時に使用した受験票）
⑤その他本校が提出を指示した必要書類

・学費は 2025 年 12 月 12 日（金）までに必ず銀行振込で納入してください。
※ 手続方法の詳細は、入学手続書類に同封される《入学手続きについて（海外帰国子女特別入学試験）》をご確認ください。

【外国人特別入学試験】

・2025 年 12 月 12 日（金）までに下記の書類を郵送してください。
①誓約書（本校所定）　１通
②パスポートの写し（氏名・生年月日・パスポート番号・写真・有効期限およびビザ（査証）のページをコピー）１通
③生徒証用写真貼付票（生徒証用写真１枚を添付し必要事項記入）
④受験票（受験時に使用した受験票）
⑤その他本校が提出を指示した必要書類

・学費は 2025 年 12 月 12 日（金）までに必ず銀行振込で納入してください。
※ 手続方法の詳細は、入学手続書類に同封される《入学手続きについて（外国人特別入学試験）》をご確認ください。

10. 学 費

【2026 年度 学費】

・入　学　金	120,000 円
・授　業　料	554,000 円
・施設等維持費	202,000 円
・冷 暖 房 費	15,000 円
・図　書　費	8,000 円
・演 奏 会 費	8,000 円
・健 康 管 理 費	5,000 円
合　計	912,000 円

・その他の諸経費

後 援 会 費（年額）		12,000 円
個人ロッカー使用料（年額）		1,200 円
生徒会費（年額）		2,500 円
給　食　費（年額）		75,000 円 ～ 80,000 円
（本校では給食制度により全校生徒に昼食を提供します。）		
補助教材費（年額）		40,000 円 ～ 70,000 円
校外学習費（２年次必修）		100,000 円
卒業記念費（３年次）		8,000 円
本校指定の制服	男子／	102,740 円 ～
	女子／	119,350 円 ～
通　学　靴（推奨品）	男子／	10,890 円
	女子／	7,920 円
本校指定の通学鞄		8,140 円
本校指定の体操着（男女同デザイン）		26,975 円 ～

11. 教育充実協力金について

本校では教育施設および設備の一層の整備充実のため、入学生保護者の皆様に寄付をお願いしております。ご寄付は任意ではありますが、ご協力のほどよろしくお願い申しあげます。
なお、協力金に関するお願いは入学後にお送りいたします。

12. 奨学金制度・経済的支援制度

東京音楽大学付属高等学校では、日本学生支援機構奨学金、地方公共団体等による公的奨学金制度のほか、本校独自の奨学金制度が設けられています。

・本校独自の奨学金

給費入学奨学金（全合格者を対象に入学試験の成績により選考を行います。）

①特別：実技が極めて優秀であり、学科、人物ともに優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者。

②甲種：実技、学科ともに優秀であり、人物も優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者。

③乙種：実技が甲種に準じて優秀であり、人物も優れ、将来広く音楽界において貢献できる見込みのある者。

特待生奨学金（２・３年生対象で成績により選出されます。）

・その他の奨学金

各種の奨学金制度の案内や手続きを支援しています。
（就学支援金・授業料軽減制度・入学支援金制度・育英資金など）

13. 学生寮（女子）

自宅から通学が困難（通学時間３時間以上を目安）な女子生徒に対して学生寮が設けられています。

（1）施設・設備

所　在　地　東京都豊島区雑司が谷 3-22-10 （東京音楽大学池袋キャンパス内）
開　　寮　2022 年 4 月
入 寮 定 員　高校生 15 名 ／ 大学生 109 名 （全て１人部屋）
建物の構造　地上５階
寮 室 間 取　８㎡
寮 室 備 品　デスク、収納棚、ベッド、エアコン、Wi-Fi 完備
付 帯 設 備　ロビー、談話室、浴室、洗面所、洗濯室、共有パソコン、コピー機

（2）入寮費用　※ 2025 年度

入寮金（入寮時のみ）　80,000 円
寮　費（月額・食費込）　78,000 円（水道、光熱費、ランドリー使用料、管理費等含む）

（3）その他

・お盆および年末年始の指定日は、閉寮となります。
・寮生としてふさわしくない行為があった場合は退寮となることがあります。
・入寮申し込みの際には必ず入寮案内で詳細を確認してください。

※ 入寮案内は東京音楽大学学生支援課（電話 03-6455-2756）で配布しています。

・申込方法

「本校 Web サイト」→「受験」→「生徒募集要項」内より《2026 年度東京音楽大学学生寮入寮申込書》をダウンロードして印刷し、必要事項を記入のうえ、出願書類と同時に郵送してください。

・選　考

新年度の入寮可能数内で入学試験の成績および通学距離等を考慮のうえ決定します。
（遠隔地出身者が優先されます。）

・発表・手続

①入寮許可者の発表は、各入学試験合格者発表時に行います。
②入寮手続きの詳細は、合格発表と同時に発送する入寮手続書類を参照してください。
③入寮を辞退する場合は、2026 年 3 月 6 日（金）15 時までに東京音楽大学付属高等学校（電話 03-3988-6214）に連絡をしてください。
④寮について不明な点は、東京音楽大学学生支援課（電話 03-6455-2756）にお問い合わせください。

❷ 入 学 試 験

1. 入学試験日程
2. 入学試験場
3. 練習室について
4. 入学試験当日に持参する物
5. 緊急時における入学試験について
6. 併願について
7. 追試験について

1. 入学試験日程

【推薦入学試験】

入学試験日：2026 年 1 月 22 日（木）～ 1 月 23 日（金）

①1 月 22 日（木）／　第 1 日目
集 合 時 間：受験する専攻、コースにより午前または午後になります。
試　　験：専攻実技
　　面　接

②1 月 23 日（金）／　第 2 日目
集 合 時 間：8 時 40 分　（開門の 8 時までは校舎内に入れません。）
試　　験：作　文　　9 時～ 9 時 50 分

※ 各実技試験の集合時間と試験順序は、出願期間後の 1 月 19 日（月）に、受験生にメールで連絡します。

【一般入学試験】

入学試験日：2026 年 2 月 10 日（火）～ 2 月 11 日（水・祝）

〈声楽専攻・器楽専攻・作曲専攻の受験生〉
①2 月 10 日（火）／　第 1 日目
受 付 時 間：8 時～ 8 時 20 分　（開門の 7 時 30 分までは校舎内に入れません。）
ガイダンス：8 時 30 分

試　　験：	楽　典	9 時～ 9 時 50 分
	聴　音	10 時 10 分～ 10 時 40 分
	国　語	11 時～ 11 時 50 分
	英　語	13 時～ 13 時 50 分
	コールユーブンゲン	14 時 40 分～ 16 時 30 分
	副科ピアノ（声楽・作曲専攻のみ受験）	15 時～ 16 時
※ 器楽専攻（弦楽器）伴奏合わせ		15 時～ 17 時 30 分（予定）

②2 月 11 日（水・祝）／　第 2 日目
集 合 時 間：受験する専攻、コースにより午前または午後になります。
試　　験：専攻実技
　　面　接

※ 各専攻実技試験と面接の集合時間・試験順序は、2 月 10 日のガイダンス時に発表します。

〈音楽総合コース、音楽総合コース・セルフデザインクラスの受験生〉

①2月10日（火）／　第1日目

受 付 時 間：8時～8時20分　（開門の7時30分までは校舎内に入れません。）

ガイダンス：8時30分

試　　験：楽　典または作　文		9時～ 9 時50分
	聴　音（セルフデザインクラスの受験生は除く）	10時10分～10時40分
	国　語	11時～11時50分
	英　語	13時～13時50分
	コールユーブンゲン（セルフデザインクラスの受験生は除く）	14時40分～16時30分
※音楽総合コース（弦楽器）伴奏合わせ		15時～17時30分（予定）

②2月11日（水・祝）／　第2日目

集 合 時 間：受験する専攻、コースにより午前または午後になります。

試　　験：専攻実技

　　面　接

※各専攻実技試験と面接の集合時間・試験順序は、2月10日のガイダンス時に発表します。

【海外帰国子女特別入学試験】

入学試験日：2025年11月23日（日）

※集合時間と試験時間の詳細は、出願期間後の10月29日（水）以降に、受験生にメールで連絡します。

【外国人特別入学試験】

入学試験日：2025年11月23日（日）

※集合時間と試験時間の詳細は、出願期間後の10月29日（水）以降に、受験生にメールで連絡します。

2. 入学試験場

【推薦入学試験】

東京音楽大学 池袋キャンパス（所在地：東京都豊島区南池袋3-4-5）

【一般入学試験】

東京音楽大学 池袋キャンパス（所在地：東京都豊島区南池袋3-4-5）

【海外帰国子女特別入学試験】

東京音楽大学 池袋キャンパス（所在地：東京都豊島区南池袋3-4-5）

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス（所在地：東京都目黒区上目黒1-9-1）

【外国人特別入学試験】

東京音楽大学 池袋キャンパス（所在地：東京都豊島区南池袋3-4-5）

東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス（所在地：東京都目黒区上目黒1-9-1）

3. 練習室について

入学試験期間中、受験者はキャンパスの練習室を無料で使用することができます。
詳細は、各入学試験で受験生に送付するお知らせを参照してください。

①個 人 練 習 室：予約制で使用する当日分のみ予約可能。
練習室は 30 分単位で予約でき、連続で 1 時間まで予約可能です。
練習後に更新すれば、連続で練習をすることもできます。

②共用の練習室：予約不要で、ハープや打楽器等の個人で持参できない楽器の練習に使用できます。
室内にあるピアノは使用できません。

※ 各自の専攻実技試験終了後は、練習室の使用はできません。

◉ 演奏実技試験の直前に、本校が指定した練習室で、決められた時間内、練習（楽器の音出し、声出しなど）を行ってから、試験場に向います。

4. 入学試験当日に持参する物

① 受験票
② 筆記用具
（筆記用具は、シャープペンシルやその芯入れ、鉛筆と消しゴムのことです。）
※ ペンケースや下敷き、定規、ピアノの鍵盤のイラスト等が書いてあるシャープペンシル、鉛筆は筆記試験場には持ち込めません。
③ 必要な楽器、スタンド類
（ピアノ、コントラバス、ハープ、テュ―バ、ティンパニ、マリンバは本校で貸し出します。）
④ 楽　譜
⑤ 時　計（腕時計のみ可。）
※ アップルウォッチや辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの、秒針音のするもの、キッチンタイマー、大型のものは試験場には持ち込めません。
⑥ 昼　食
・受験生はご自身の入学試験日程を確認して、昼食が必要な場合は持参してください。
（学生食堂、学生レストランは営業していますが、新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の発症状況によっては営業できない場合もありますので、ご了承ください。）
・昼食を持参した場合は、学生食堂内、学生レストラン内で飲食してください。
（本校では学生食堂、学生レストラン以外での飲食はできません。）
⑦ ハンカチ、ティッシュ
・筆記試験中に必要となる可能性がある場合は、開始前に机の上に出しておいてください。試験の途中で出すことはできません。
（ティッシュは袋から出して机の上に置いてください。ハンカチは文字やピアノの鍵盤のイラスト等が書いていないものに限ります。）
⑧ 携帯電話
（緊急時の連絡や練習室の予約で使用します。）

5. 緊急時における入学試験について

① 試験当日、時間通りに集合場所に到着することが困難な場合は、必ず東京音楽大学付属高等学校に電話で連絡をしてください。
・03-3988-6214　　東京大学付属高等学校
・080-4299-1311　　試験前日から試験期間中のみ本校が使用する携帯電話
② 自然災害や事故等により入学試験の実施に変更が生じた場合は、東京音楽大学付属高等学校 Web サイトに変更内容を掲載しますので必ず確認をしてください。
また、ラジオのニッポン放送でも緊急連絡放送を午前 6 時から逐次行います。
③【推薦入学試験】で欠席をした受験生に対しての追試験は行いませんので、【一般入学試験】を受験してください。

6. 併願について

【推薦入学試験】

第一志望のみで併願は認めない。

【一般入学試験】

第一志望が器楽専攻「ピアノ演奏家コース」および音楽総合コース以外の者で、特に希望する者は第二志望として声楽専攻または音楽総合コース（セルフデザインクラスを除く）を併願することができる。
また、第二志望のみの受験は認めない。
・併願を志望する者は願書の『志望専攻名』の第二志望欄に［声楽］または［音楽総合コース］と明記すること。
・器楽専攻「ピアノ」「ピアノ・創作コース」および作曲専攻以外を第一志望とする者が声楽専攻を併願する場合は、専攻別試験科目（声楽専攻）のほかに共通試験科目の副科ピアノを受験しなければならない。

【海外帰国子女特別入学試験】

第一志望が器楽専攻「ピアノ演奏家コース」および音楽総合コース以外の者で、特に希望する者は第二志望として声楽専攻または音楽総合コース（セルフデザインクラスを除く）を併願することができる。
また、第二志望のみの受験は認めない。
・併願を志望する者は願書の『志望専攻名』の第二志望欄に［声楽］または［音楽総合コース］と明記すること。
・声楽専攻を併願する場合は、声楽専攻の専攻別試験科目も受験しなければならない。

【外国人特別入学試験】

第一志望が器楽専攻「ピアノ演奏家コース」以外の者で、特に希望する者は第二志望として声楽専攻を併願することができる。
また、第二志望のみの受験は認めない。
・併願を志望する者は願書の『志望専攻名』の第二志望欄に［声楽］と明記すること。
・声楽専攻を併願する場合は、声楽専攻の専攻別試験科目も受験しなければならない。

7. 追試験について

新型コロナウイルス感染症（covid-19）やインフルエンザの発症、体温が 37.5℃以上で**一般入学試験**を受験できなかった場合は、受験料および出願内容をそのまま振り替えて、追試験を受験することができます。
なお、推薦入学試験、海外帰国子女特別・外国人特別入学試験の受験生に対しての追試験は行いませんので、一般入学試験を受験してください。

・追試験の受験を希望する場合は、以下の手続きに従って申請してください。
① 試験当日の集合時刻までに本校緊急連絡先に連絡をしてください。
② 追試験受験申請書に必要事項を記入し、受験票のコピーと医師の診断書を添えて、東京音楽大学付属高等学校入試係宛に郵送してください。
申請期限：2026 年 2 月 13 日（金）必着
③ 追試験は受験生の症状によって日程が異なってきますので、詳細については申請書受理後、あらためて通知いたします。

❸　入学試験科目

1. 推薦入学試験
2. 一般入学試験
3. 海外帰国子女特別入学試験
4. 外国人特別入学試験

1. 推薦入学試験

1 共通試験科目

（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻、音楽総合コース、音楽総合コース・セルフデザインクラス）

■作　文

■面　接

2 専攻別試験科目

■声　楽　専　攻

（1）『コンコーネ 50 番』の第 5 番～第 20 番までの中から任意の 2 曲を選ぶこと。
その中から当日 1 曲を指定する。
※ 母音唱法に限る。暗譜で歌うこと。
※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を〇で囲むこと。
※ 指定された以外の調で歌う場合は伴奏譜を出願書類と共に提出すること。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。コピー譜には受験者氏名を記入すること。

（2）日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を 1 曲。
（オペラのアリアも可。ただしアリアは原調で歌うこと。）
※ 暗譜で歌うこと。
※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを、譜めくりしやすいように製本し、表紙には受験者氏名を記入すること。
（移調譜は丁寧かつ誤りのないものであること。）
※ 演奏の途中で打ち切る場合がある。

■器　楽　専　攻

鍵盤楽器

ピ ア ノ

※ 暗譜で演奏すること。
（1）J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（フーガのみ）
（2）次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の 2 曲（同一作曲家の組み合わせでなくても可）
（イ）チェルニー 50 番（Op.740）
（ロ）クラマー・ビューロー 60 番
（ハ）クレメンティ（タウジヒ編による 29 の練習曲より選択のこと）
（二）モシュコフスキ『15 の練習曲集』Op.72
（ホ）ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く）、『3 つの新しい練習曲』
（3）自由曲（6 分程度。ただし **4 分以上**であること。複数曲可。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）
※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

ピアノ演奏家コース

※ 暗譜で演奏すること。

次の A 課題または B 課題を選択すること。

A 課題

（1）J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）
※ 当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

（2）次の（イ）～（ハ）の練習曲集より 2 曲を選択して演奏する。ただしショパンを必ず 1 曲含めること。ショパン 2 曲でも可。
（イ）ショパン『練習曲』Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く）
（ロ）モシュコフスキ『15の練習曲集』Op.72
（ハ）モシェレス『24の練習曲集』Op.70（Op.70 No.16、No.20、No.24 を除く）

（3）自由曲（**10分以上**であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）
※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。
※ 器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

B 課題

自由曲（**20 分以上**であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）
※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。
※ 器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

ピアノ演奏家コース 特別特待奨学生

出願書類受理後に一次書類審査を行う。
※ 書類審査の結果により通常のピアノ演奏家コースでの受験となる場合がある。その場合はピアノ演奏家コースのA課題またはB課題のどちらかを選択してプログラムを作り、事前に提出すること。

※ 暗譜で演奏すること。

次の（1）～（5）をあわせて **60 分以上**のプログラムを組むこと。

（1）J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）
（2）ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25 より任意の 3 曲
（3）次の（イ）～（ニ）の練習曲集の中から、任意の 1 曲
（イ）リスト
（ロ）ドビュッシー
（ハ）スクリャービン Op.8、Op.42、Op.65
（ニ）ラフマニノフ Op.33、Op.39
（4）ベートヴェンのソナタより任意の 1 曲（全楽章）
（5）自由曲（ロマン派および近現代の作品から自由選択）
※ 各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること。
※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。
※ 曲順は当日試験委員が指定する。また、演奏する箇所を指定する場合もある。
※ 受験結果により器楽専攻（ピアノ演奏家コース）に合格となる場合がある。

ピアノ・創作コース

1. ピアノ課題

※ 暗譜で演奏すること。

（1）J.S.バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第1巻、第2巻より任意の1曲（プレリュードまたはフーガ）

（2）次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の 1 曲を選択すること。

（イ）チェルニー 50 番（Op.740）

（ロ）クラマー・ビューロー 60 番

（ハ）クレメンティ（タウジヒ編による 29 の練習曲より選択のこと）

（ニ）モシュコフスキ『15 の練習曲集』Op.72

（ホ）ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く）、『3 つの新しい練習曲』

（3）自由曲（6分程度。ただし、**4 分以上**であること。複数曲可。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

2. 創作

自作曲の楽譜を 1 曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲（1 ～ 2 分程度）、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

弦楽器

ヴァイオリン

(1) 音階および分散和音

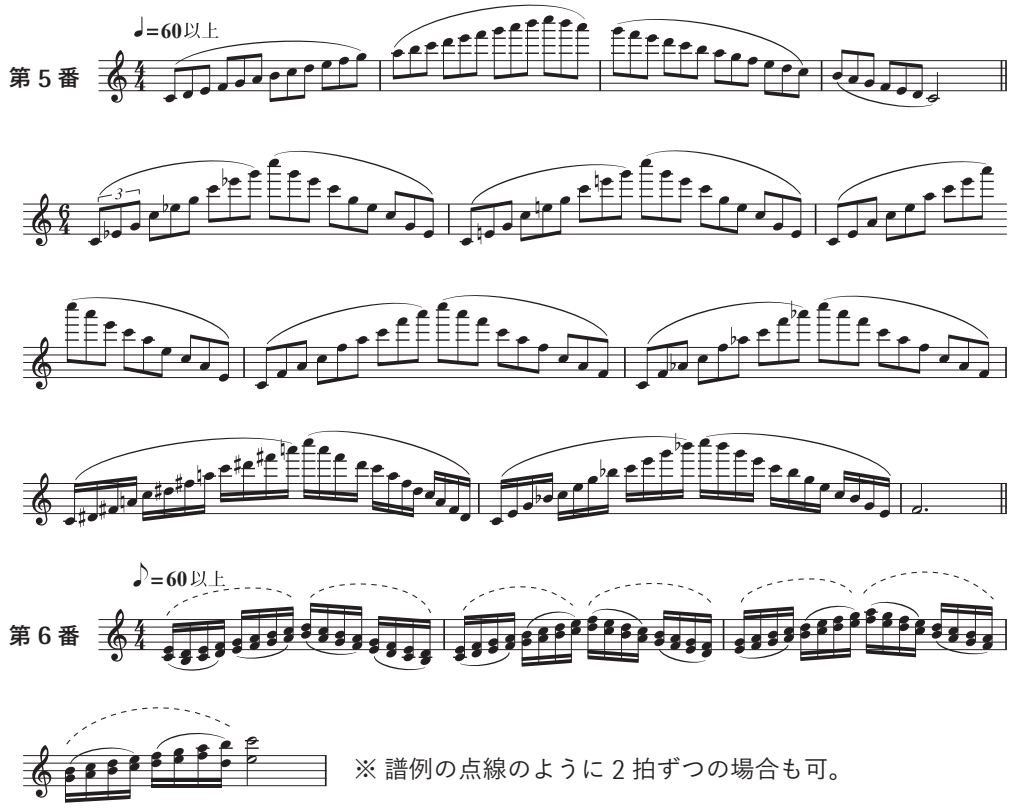
Carl Flesch：Scale system (C. フレッシュ『スケール・システム』) より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指の指定なし。

①第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。

♩=60以上（スラーとリズムは下記の C-dur に準ずる）

②第 6、7、8 番は各々冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。

♪=60以上（スラーは 16 分音符 4 個以上とする。1 小節 2 弓でも可。下記の第 6 番参照）



※ 譜例の点線のように 2 拍ずつの場合も可。

(2) 練習曲：クロイツェル、ローデ、ドント、パガニーニなどの練習曲やカプリスの中より任意の 1 曲を演奏する。繰り返しはなしとする。

(3) 任意の協奏曲 1 曲より第 1 楽章（カデンツァを含む）。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

※ 演奏によりヴィオラ演奏に適性ありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。ヴィオラでの入学に同意する受験者は、入学願書の「ヴィオラへの転専攻（○で囲む）」欄の「同意する」を○で囲むこと。

ヴィオラ

（1）音階および分散和音

Carl Flesch：Scale system（C. フレッシュ『スケール・システム』）より、任意の長調または短調を選び第 5 番、第 6 番を演奏する。運指、運弓の指定なし

①第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。

♩=60 以上（スラーとリズムは C-dur に準ずる）

②第 6 番は冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。

♪=60 以上（スラーは 16 分音符 4 個以上とする）。

（2）自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。
※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。
※ ヴァイオリンによる受験も可。その場合、出願書類（受験票）の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

チ ェ ロ

（1）任意の長調、短調、両方の 3 オクターヴの音階（4 音を一弓で演奏すること）。
（2）任意のエチュードを 1 曲。
（3）次の（イ）・（ロ）より 1 つを任意に選択する。

（イ）任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章または最終楽章
（ボエルマン作曲 交響的変奏曲・チャイコフスキー作曲 ロココ変奏曲等を含む）

（ロ）任意の古典ソナタより第 1 楽章および第 2 楽章
（ただしバッハの無伴奏組曲を除く）

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※ 伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。
※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

コントラバス

（1）任意の調の 2 オクターヴの音階。
（2）自由曲を 1 曲（エチュードも可）。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。
※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

ハ ー プ

（1）ボクサ：「40 番練習曲」作品 318 から任意の 1 曲。
（2）自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※ 伴奏はなし。

クラシックギター

（1）カルカッシまたはソルの練習曲の中から任意の 1 曲。
（2）自由曲を 1 曲。

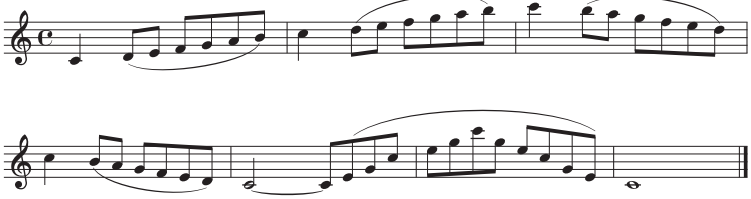
※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※ 伴奏はなし。

木管楽器

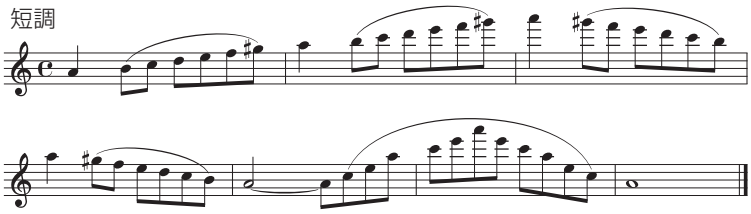
フルート

（1）次の音型によって音階および分散和音を演奏すること。
調性、スラーの有無は当日指定。演奏は暗譜で行うこと。（♩≒ 80 ～ 90）

長調



短調



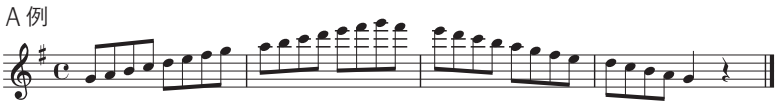
（2）J. Donjon：Études de Salon から no.1 Elégie（J. ドンジョン『サロンエチュード』から no.1 エレジー）
演奏箇所は当日指定する。

（3）Carl Stamitz：Concerto G-dur より第 1 楽章
カデンツァは含まない。
演奏箇所は当日指定する。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。
※ 伴奏はなし。

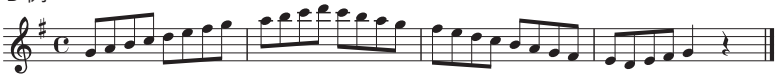
オーボエ

（1）音階：次の A、B いずれかの音型によって、長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。

A 例



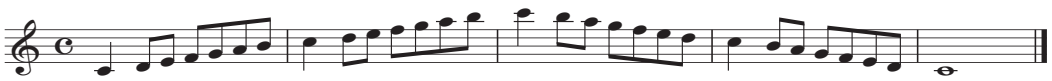
B 例



（2）4 分程度の任意の独奏曲または練習曲。
演奏箇所は当日指定する。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。
※ 伴奏はなし。

クラリネット

（1）音階：次の音型によって長音階と旋律短音階を演奏すること。♯♭は３つまでとし、調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。

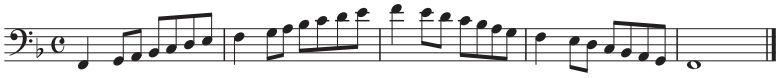


（2）C. Rose : 32 Etudes for Clarinet（ローズ：32 のエチュード）より、任意の奇数番号 1 曲と偶数番号 1 曲を演奏する。
※ 版は自由。

（3）H. Klosé : Exercises Journaliers pour Clarinette《P. JEANJEAN 校訂 / Leduc 版》（クローゼ：クラリネットのための日課練習《ジャンジャン校訂 / ルデュック版》）より第 1 番から第 3 番までの中から当日指定する。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。

ファゴット

（1）音階：次の音型によって、長音階と短音階を演奏すること。
♯♭は 3 つまでとし、調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



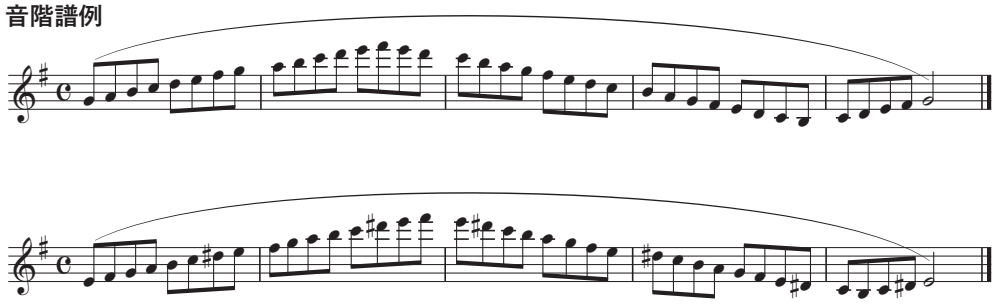
（2）Julius Weissenborn：Bassoon Studies op.8 第 1 巻Ⅲの中から任意の 1 曲。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。
※ 伴奏はなし。

サクソフォーン

アルト・サクソフォーンで演奏すること。

（1）音階：長調、短調（和声的短音階）♯♭ 4 つまでの中から、譜例に従い、当日指定された音階をスラーで演奏すること。演奏は暗譜で行うこと（繰り返しはなし）。

音階譜例

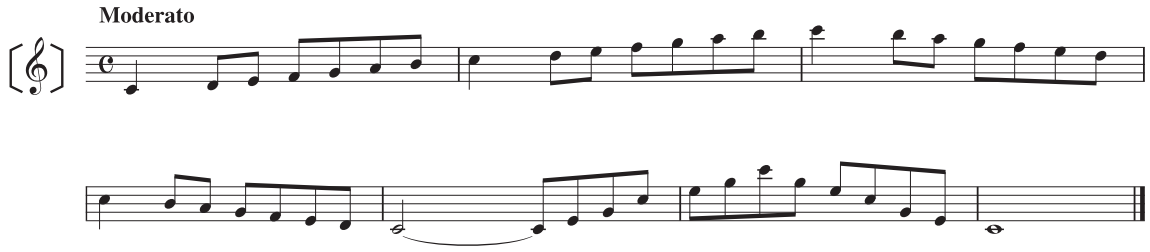


（2）Guy Lacour：50 Etudes Faciles & Progressives pour Saxophone（Billaudot 版）第 1 巻、第 2 巻の 50 曲より任意の 2 曲を演奏すること。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。
※ 伴奏はなし。

金管楽器

《金管楽器共通課題（音階及び分散和音）》

次の例にしたがって演奏すること。（長音階と短音階）
（調性、音域は当日指定。暗譜で演奏すること）



※ 短音階は和声短音階とする。

ホ ル ン

（1）音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
（2）任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。
※ 伴奏はなし。

トランペット

（1）Dr. Charles Colin：TRUMPET advanced LIP FLEXIBILITIES VOL.1 より第 3 番（ETUDE No.1）。
演奏は暗譜で行うこと。
（2）音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
（3）Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet12『幻想曲とアリア』より第 5 番。
The Beautiful Snow の主題と変奏曲Ⅰ・Ⅱ（暗譜の必要はない）。
※ 伴奏はなし。

トロンボーン

（1）音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
※ バストロンボーンについては、F-dur（ヘ長調）および f-moll（ヘ短調）とする。
（2）・テナー・トロンボーン
Vivaldi Sonata No.1 B-dur Ⅰ.Largo　Ⅱ.Allegro
・バス・トロンボーン
J. E. Galliard Sonata No.1 a-moll Ⅰ.Cantabille　Ⅱ.Spritoso e staccato　Ⅴ.Vivace
※ 繰り返しなし。暗譜の必要はない。
※ 出版社の指定なし。
※ バス・トロンボーンについては、1 オクターヴ下げて演奏することも可。
※ 伴奏はなし。

テューバ

（1）音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
（2）任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。
※ 伴奏はなし。

ユーフォニアム

（1）音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
（2）Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet12『幻想曲とアリア』より第 4 番。
Tyrolean Song の主題と変奏曲Ⅰ・Ⅱ（暗譜の必要はない）。
※ 伴奏はなし。

気鳴楽器

アコーディオン

（1）ドメニコ・スカルラッティ『ソナタ』または、J.S. バッハ『インヴェンションとシンフォニア』BWV 772 ～ BWV 801 より任意の 1 曲

※ 暗譜で演奏すること

（2）アコーディオンのためのオリジナル作品より任意の 1 曲

※ 暗譜の必要はなし。

打楽器

小太鼓またはマリンバで受験すること（願書の志望専攻名欄に打楽器（小太鼓）、打楽器（マリンバ）のいずれかを記入すること）。

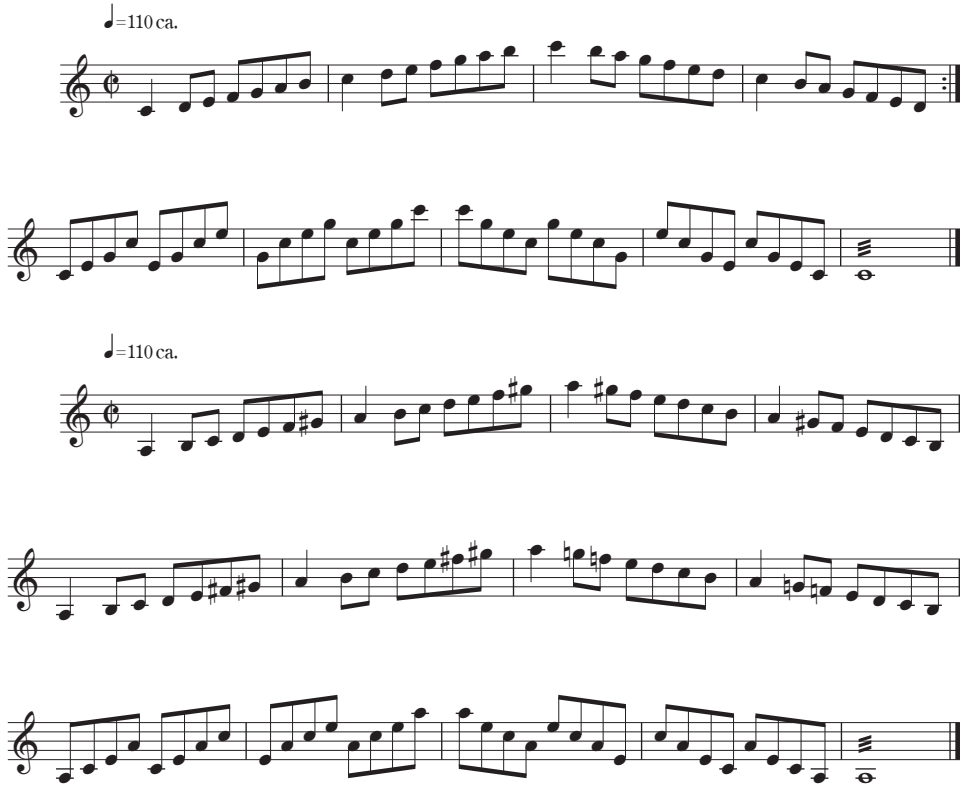
小 太 鼓

（1）二つ打

（2）任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。

マリンバ

（1）2 オクターヴの長音階、短音階、分散和音を譜例の音型で演奏すること（調性は当日指定）。



（2）任意の独奏曲 1 曲（暗譜の必要はない）。

※ 伴奏はなし。

■作　曲　専　攻

（1）和声：転調および非和声音を含まないバス課題

（2）作曲：与えられた動機による楽曲の創作

※（1）（2）合わせて **3 時間**

（3）面接：作曲についての簡単な内容

■音楽総合コース（セルフデザインクラスを除く）

実技課題曲

声　楽

（1）（2）の両方から選曲し演奏時間は**合計 6 分以内**とする。

（1）『コンコーネ 50 番』より第 1 番～第 10 番までの中から任意の 1 曲を選ぶこと。

※ 母音唱法に限る。暗譜で歌うこと。
※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を〇で囲むこと。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。コピー譜には受験者氏名を記入すること。

（2）日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を 1 曲。

※ 暗譜で歌うこと。
※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを、譜めくりしやすいように製本し、表紙には受験者氏名を記入すること。

ピ ア ノ

自由曲（5 分程度。複数曲可）

※ 暗譜で演奏すること。
※ 複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること。
※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

弦 楽 器

・ヴァイオリンは自由曲（コンチェルト、ソナタ等）とし、クロイツェル、ドント、ローデ、パガニーニ等の練習曲やカプリスも可。
・その他の弦楽器は特に指定なし（自由曲）。

※ 暗譜で演奏すること。
※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。
※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

管打楽器（アコーディオンは除く）

いずれの楽器も練習曲を含む自由曲とする。演奏時間は **5 分以内**。

※ 暗譜の必要はない。伴奏はなし。

作　曲

（1）指定された「与えられた動機による楽曲の創作」（**3 時間以内**）とする。
（2）面接（作曲についての簡単な内容）

■音楽総合コース・セルフデザインクラス

（1）自己 PR

自己 PR は当日面接の時に行うか、前日までに動画または PDF で提出すること。
内容については問わない。自らの得意なことや、やってみたいことなどを、自分なりの表現でアピールすること。

（2）面接

2. 一般入学試験

＊器楽専攻（ピアノ演奏家コース特別特待奨学生）は募集しません。

1 共通試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻）

1. 一 般 学 科

（1）英語　※ ただし、実用英語技能検定準 2 級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。

（2）国語

2. 楽　典

楽典一般

3. 聴　音

単旋律聴音（8 小節程度）・・・各専攻共通 2 題

4. コールユーブンゲン

第 1 巻の原書番号 No.24 ～ No.41 の中から当日 1 曲指定する。

※ 移動ド唱法または固定ド唱法のいずれでも可。

5. 面　接

6. 副 科 ピ ア ノ

声楽専攻と作曲専攻の志望者のみ

※ 暗譜で演奏すること。

・声楽専攻

ソナチネ程度以上の曲から任意の 1 曲を演奏すること。

（2 つ以上の楽章を合わせても可。繰り返しは自由）

・作曲専攻

J.S. バッハ『三声インヴェンション（シンフォニア）』から任意の 1 曲および自由曲（自作品は不可）

1 曲を合わせて 2 曲を演奏すること。（2 曲で **5 分以上 10 分以内**）

2 専攻別試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻）

■声　楽　専　攻

（1）『コンコーネ 50 番』の第 5 番～第 20 番までの中から任意の 2 曲を選ぶこと。

その中から当日 1 曲を指定する。

※ 母音唱法に限る。暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を〇で囲むこと。

※ 指定された以外の調で歌う場合は伴奏譜を出願書類と共に提出すること。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。コピー譜には受験者氏名を記入すること。

（2）日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を 1 曲。

（オペラのアリアも可。ただしアリアは原調で歌うこと。）

※ 暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを、譜めくりしやすいように製本し、表紙には受験者氏名を記入すること。

（移調譜は丁寧かつ誤りのないものであること。）

※ 演奏の途中で打ち切る場合がある。

■器　楽　専　攻

鍵盤楽器

ピ　ア　ノ

※ 暗譜で演奏すること。

（1）J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（フーガのみ）

（2）次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の 2 曲（同一作曲家の組み合わせでなくても可）

（イ）チェルニー 50 番（Op.740）

（ロ）クラマー・ビューロー 60 番

（ハ）クレメンティ（タウジヒ編による 29 の練習曲より選択のこと）

（ニ）モシュコフスキ『15 の練習曲集』Op.72

（ホ）ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く）、『3 つの新しい練習曲』

（3）自由曲（6 分程度。ただし **4 分以上**であること。複数曲可。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

ピアノ演奏家コース

※ 暗譜で演奏すること。

次の A 課題または B 課題を選択すること。

A 課題

（1）J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードとフーガ）

※ 当日各自の抽選でプレリュードまたはフーガのどちらかの演奏になる場合がある。

（2）次の（イ）～（ハ）の練習曲集より 2 曲を選択して演奏する。ただしショパンを必ず 1 曲含めること。ショパン 2 曲でも可。

（イ）ショパン『練習曲』Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く）

（ロ）モシュコフスキ『15 の練習曲集』Op.72

（ハ）モシェレス『24 の練習曲集』Op.70（Op.70 No.16、No.20、No.24 を除く）

（3）自由曲（**10 分以上**であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※ 器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

B 課題

自由曲（**20 分以上**であること。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

※ 器楽専攻（ピアノ演奏家コース）の受験結果により、器楽専攻（ピアノ）に合格となる場合がある。

ピアノ・創作コース

1．ピアノ課題

※ 暗譜で演奏すること。

（1）J.S. バッハ『平均律クラヴィーア曲集』第 1 巻、第 2 巻より任意の 1 曲（プレリュードまたはフーガ）

（2）次の（イ）～（ホ）の練習曲集より任意の 1 曲を選択すること。

（イ）チェルニー 50 番（Op.740）

（ロ）クラマー・ビューロー 60 番

（ハ）クレメンティ（タウジヒ編による 29 の練習曲より選択のこと）

（ニ）モシュコフスキ『15 の練習曲集』Op.72

（ホ）ショパン『練習曲集』Op.10、Op.25（Op.10 No.6、Op.25 No.7 を除く）、『3 つの新しい練習曲』

（3）自由曲（6 分程度。ただし、**4 分以上**であること。複数曲可。複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること）

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

2．創作

自作曲の楽譜を 1 曲、出願書類と共に提出すること。編成および曲の長さは自由とする。

例：ピアノ独奏曲（1 ～ 2 分程度）、電子オルガンを含むアンサンブル作品等

弦楽器

ヴァイオリン

（1）音階および分散和音

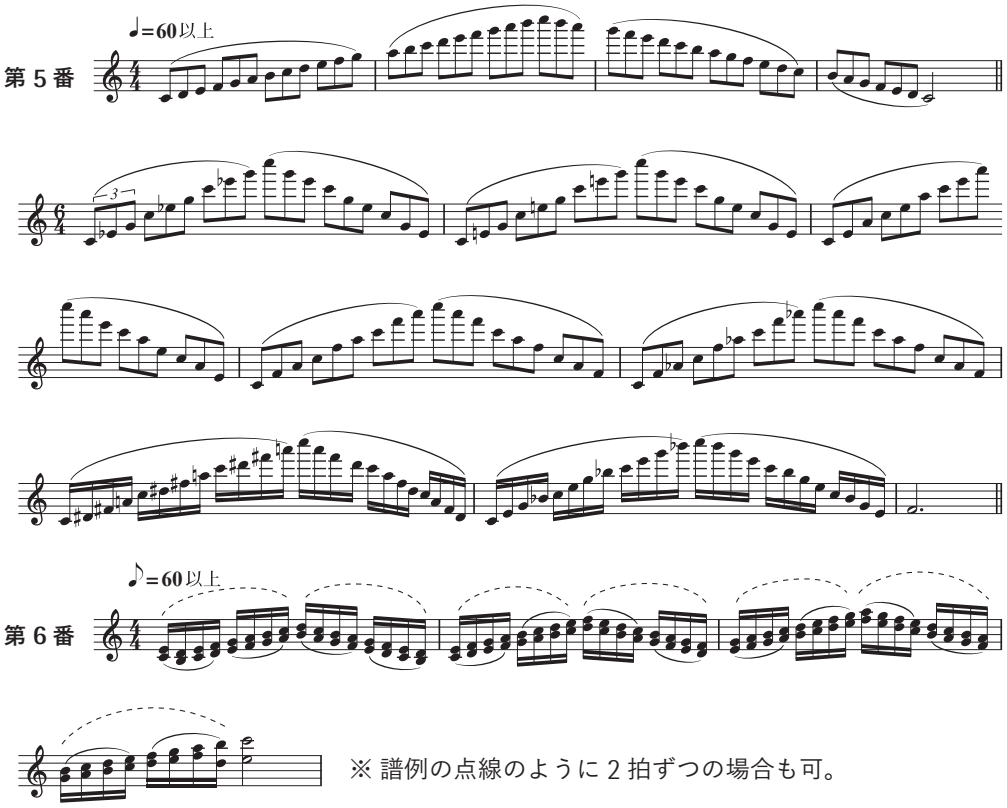
Carl Flesch：Scale system（C. フレッシュ『スケール・システム』）より、任意の長調または短調を選び、第 5、6、7、8 番を演奏する。運指の指定なし。

①第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。

♩=60以上（スラーとリズムは下記の C-dur に準ずる）

②第 6、7、8番は各々冒頭から4小節目までを、速やかに続けて演奏する。

♪=60以上（スラーは16分音符 4 個以上とする。1小節 2 弓でも可。下記の第 6 番参照）



※ 譜例の点線のように 2 拍ずつの場合も可。

（2）練習曲：クロイツェル、ローデ、ドント、パガニーニなどの練習曲やカプリスの中より任意の1曲を演奏する。繰り返しはなしとする。

（3）任意の協奏曲 1 曲より第 1 楽章（カデンツァを含む）。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。

※ 伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

※ 演奏によりヴィオラ演奏に適性ありと認め得る受験者は、ヴィオラで合格となる場合がある。ヴィオラでの入学に同意する受験者は、入学願書の「ヴィオラへの転専攻（○で囲む）」欄の「同意する」を○で囲むこと。

ヴィオラ

（1）音階および分散和音

Carl Flesch：Scale system（C. フレッシュ『スケール・システム』）より、任意の長調または短調を選び第 5 番、第 6 番を演奏する。運指、運弓の指定なし

①第 5 番は冒頭から 12 小節目までを演奏する。

♩=60 以上（スラーとリズムは C-dur に準ずる）

②第 6 番は冒頭から 4 小節目までを、速やかに続けて演奏する。

♪=60 以上（スラーは 16 分音符 4 個以上とする）。

（2）自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。
※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。
※ ヴァイオリンによる受験も可。その場合、出願書類（受験票）の志望欄にヴィオラと記入し、ヴァイオリンの課題で受験すること。

チ ェ ロ

（1）任意の長調、短調、両方の 3 オクターヴの音階（4 音を一弓で演奏すること）。
（2）任意のエチュードを 1 曲。
（3）次の（イ）・（ロ）より 1 つを任意に選択する。

（イ）任意のチェロ協奏曲より第 1 楽章または最終楽章
（ボエルマン作曲 交響的変奏曲・チャイコフスキー作曲 ロココ変奏曲等を含む）

（ロ）任意の古典ソナタより第 1 楽章および第 2 楽章
（ただしバッハの無伴奏組曲を除く）

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※ 伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。
※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

コントラバス

（1）任意の調の 2 オクターヴの音階。
（2）自由曲を 1 曲（エチュードも可）。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。
※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

ハ ー プ

（1）ボクサ：「40 番練習曲」作品 318 から任意の 1 曲。
（2）自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※ 伴奏はなし。

クラシックギター

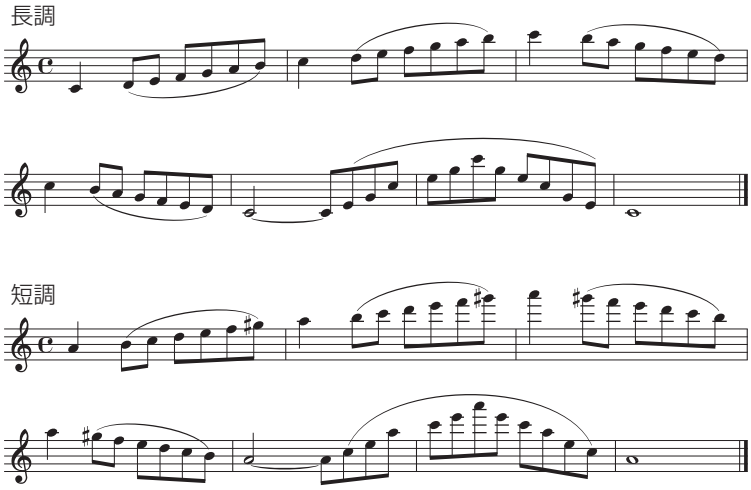
（1）カルカッシまたはソルの練習曲の中から任意の 1 曲。
（2）自由曲を 1 曲。

※ いずれの課題も暗譜で演奏すること。
※ 伴奏はなし。

木管楽器

フルート

（1）次の音型によって音階および分散和音を演奏すること。
調性、スラーの有無は当日指定。演奏は暗譜で行うこと。（♩≒ 80 ～ 90）

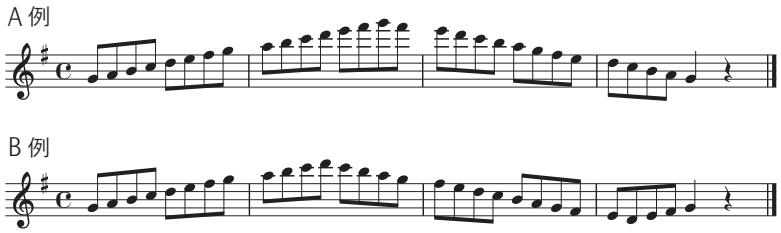


（2）J. Donjon：Études de Salon から no.1 Elégie（J. ドンジョン『サロンエチュード』から no.1 エレジー）
演奏箇所は当日指定する。

（3）Carl Stamitz：Concerto G-dur より第 1 楽章
カデンツァは含まない。
演奏箇所は当日指定する。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。
※ 伴奏はなし。

オーボエ

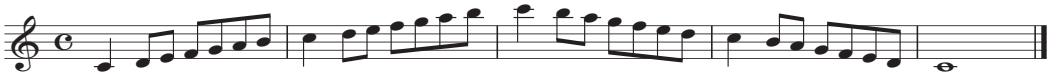
（1）音階：次の A、B いずれかの音型によって、長音階と短音階を演奏すること。調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



（2）4 分程度の任意の独奏曲または練習曲。
演奏箇所は当日指定する。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。
※ 伴奏はなし。

クラリネット

（1）音階：次の音型によって長音階と旋律短音階を演奏すること。♯♭は３つまでとし、調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。

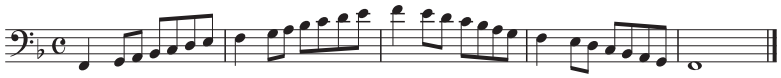


（2）C. Rose : 32 Etudes for Clarinet（ローズ：32 のエチュード）より、任意の奇数番号 1 曲と偶数番号 1 曲を演奏する。
※ 版は自由。

（3）H. Klosé : Exercises Journaliers pour Clarinette《P. JEANJEAN 校訂 / Leduc 版》（クローゼ：クラリネットのための日課練習《ジャンジャン校訂 / ルデュック版》）より第 1 番から第 3 番までの中から当日指定する。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。

ファゴット

（1）音階：次の音型によって、長音階と短音階を演奏すること。
♯♭は 3 つまでとし、調性、スラー等は当日指定する。演奏は暗譜で行うこと。



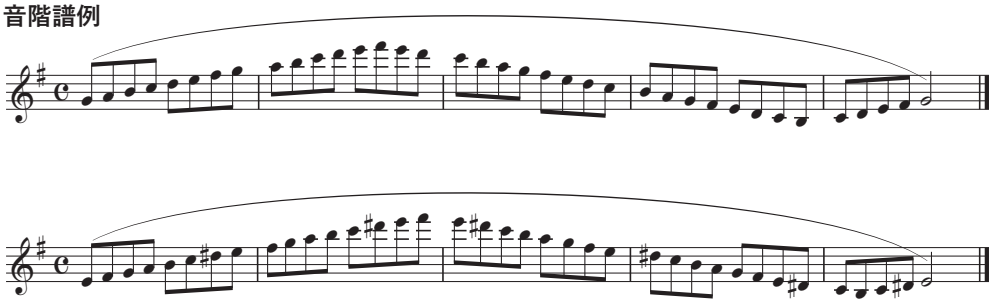
（2）Julius Weissenborn：Bassoon Studies op.8 第 1 巻 III の中から任意の 1 曲。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。
※ 伴奏はなし。

サクソフォーン

アルト・サクソフォーンで演奏すること。

（1）音階：長調、短調（和声的短音階）♯♭ 4 つまでの中から、譜例に従い、当日指定された音階をスラーで演奏すること。演奏は暗譜で行うこと。（繰り返しはなし。）

音階譜例

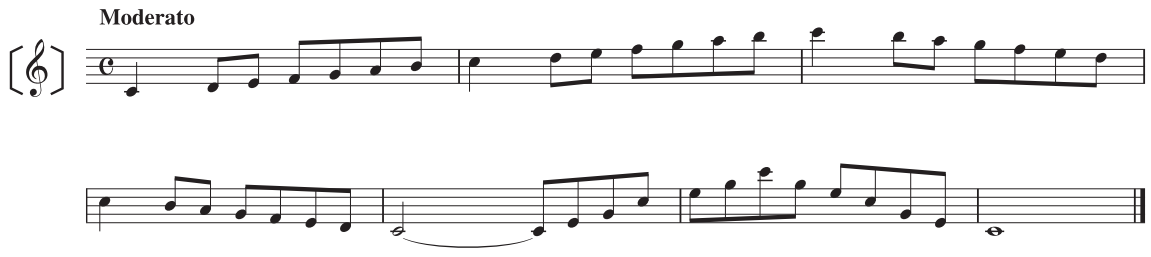


（2）Guy Lacour：50 Etudes Faciles & Progressives pour Saxophone（Billaudot 版）第 1 巻、第 2 巻の 50 曲より任意の 2 曲を演奏すること。
※ 音階課題以外は暗譜の必要はない。
※ 伴奏はなし。

金管楽器

《金管楽器共通課題（音階及び分散和音）》

次の例にしたがって演奏すること。（長音階と短音階）
（調性、音域は当日指定。暗譜で演奏すること）



※ 短音階は和声短音階とする。

ホ ル ン

（1）音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
（2）任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。
※ 伴奏はなし。

トランペット

（1）Dr. Charles Colin：TRUMPET advanced LIP FLEXIBILITIES VOL.1 より第 3 番（ETUDE No.1）。
演奏は暗譜で行うこと。
（2）音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
（3）Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet12『幻想曲とアリア』より第 5 番。
The Beautiful Snow の主題と変奏曲Ⅰ・Ⅱ（暗譜の必要はない）。
※ 伴奏はなし。

トロンボーン

（1）音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
※ バストロンボーンについては、F-dur（ヘ長調）および f-moll（ヘ短調）とする。
（2）・テナー・トロンボーン
Vivaldi Sonata No.1 B-dur Ⅰ.Largo　Ⅱ.Allegro
・バス・トロンボーン
J. E. Galliard Sonata No.1 a-moll Ⅰ.Cantabille　Ⅱ.Spritoso e staccato　Ⅴ.Vivace
※ 繰り返しなし。暗譜の必要はない。
※ 出版社の指定なし。
※ バス・トロンボーンについては、1 オクターヴ下げて演奏することも可。
※ 伴奏はなし。

テューバ

（1）音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
（2）任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。
※ 伴奏はなし。

ユーフォニアム

（1）音階：音域、調性、スラー等は当日指定。暗譜で演奏すること（金管楽器共通課題参照のこと）。
（2）Arban's Complete Conservatory Method for Trumpet12『幻想曲とアリア』より第 4 番。
Tyrolean Song の主題と変奏曲Ⅰ・Ⅱ（暗譜の必要はない）
※ 伴奏はなし。

気鳴楽器

アコーディオン

（1）ドメニコ・スカルラッティ『ソナタ』または、J.S. バッハ『インヴェンションとシンフォニア』BWV 772 ～ BWV 801 より任意の 1 曲

※ 暗譜で演奏すること。

（2）アコーディオンのためのオリジナル作品より任意の 1 曲

※ 暗譜の必要はない。

打楽器

小太鼓またはマリンバで受験すること（願書の志望専攻名欄に打楽器（小太鼓）、打楽器（マリンバ）のいずれかを記入すること）。

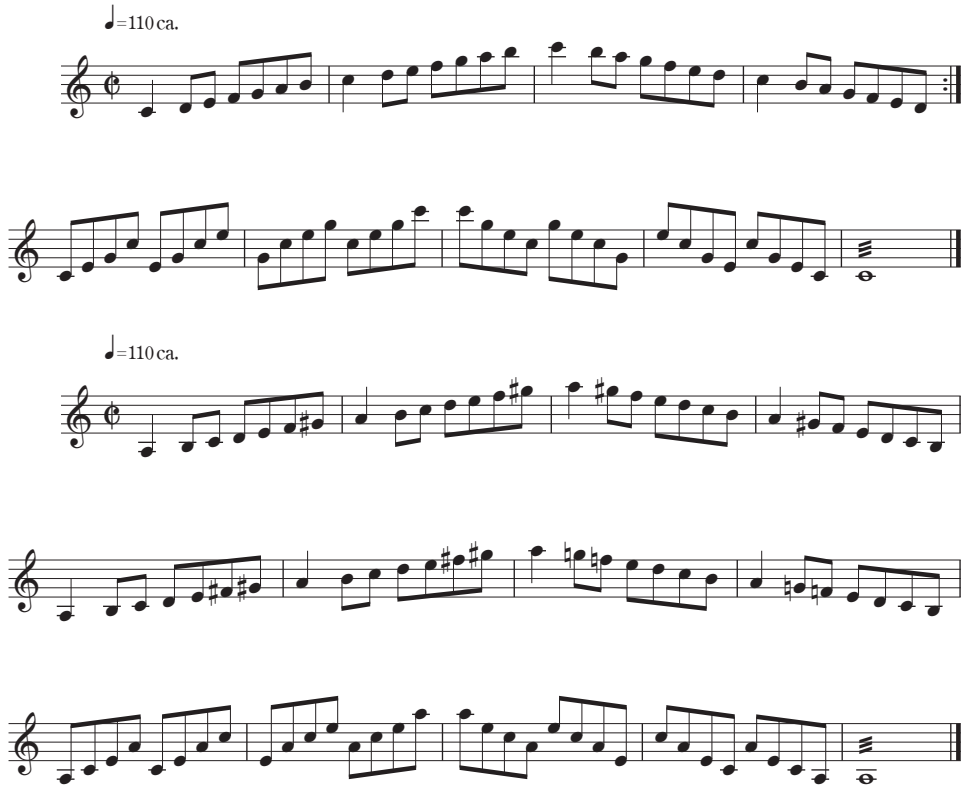
小 太 鼓

（1）二つ打

（2）任意の独奏曲または練習曲 1 曲（暗譜の必要はない）。

マリンバ

（1）2 オクターヴの長音階、短音階、分散和音を譜例の音型で演奏すること（調性は当日指定）。



（2）任意の独奏曲 1 曲（暗譜の必要はない）。

※ 伴奏はなし。

■作　曲　専　攻

（1）和声：転調および非和声音を含まないバス課題

（2）作曲：与えられた動機による楽曲の創作

※（1）（2）合わせて **3時間**

（3）面接：作曲についての簡単な内容

3 音楽総合コース（セルフデザインクラスを除く）

1. 一 般 学 科

（1）英語　※ ただし、実用英語技能検定準 2 級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。

（2）国語

2. 楽　典

楽典一般

3. ソルフェージュ

「コールユーブンゲン」または「聴音」より 1 科目選択

・コールユーブンゲン

第 1 巻の原書番号 No.24 ～ No.41 の中から当日 1 曲指定する。

※ 移動ド唱法または固定ド唱法のいずれでも可。

・聴音

単旋律聴音（8 小節程度）2 題

4. 面　接

5. 実　技

声楽、ピアノ、その他の器楽（弦楽器、管打楽器）、作曲の中から 1 つを選択する。

※ 各課題詳細は下記を参照のこと。

【実技課題曲】

声　楽

（1）（2）の両方から選曲し演奏時間は**合計 6 分以内**とする。

（1）『コンコーネ 50 番』より第 1 番～第 10 番までの中から任意の 1 曲を選ぶこと。

※ 母音唱法に限る。暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。コピー譜には受験者氏名を記入すること。

（2）日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を 1 曲。

※ 歌詞は原語で、暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。楽譜は書き込みの無い鮮明なものを、譜めくりしやすいように製本し、表紙には受験者氏名を記入すること。

ピ ア ノ

自由曲（5 分程度。複数曲可）

※ 暗譜で演奏すること。

※ 複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること。

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

弦 楽 器

・ヴァイオリンは自由曲（コンチェルト、ソナタ等）とし、クロイツェル、ドント、ローデ、パガニーニ等の練習曲やカプリスも可。

・その他の弦楽器は特に指定なし（自由曲）

※ 暗譜で演奏すること。

※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。

※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

管打楽器（アコーディオンは除く）

いずれの楽器も練習曲を含む自由曲とする。演奏時間は**5 分以内**。

※ 暗譜の必要はない。伴奏はなし。

作　曲

（1）指定された「与えられた動機による楽曲の創作」（**3 時間以内**）。
（2）面接（作曲についての簡単な内容）

4 音楽総合コース・セルフデザインクラス

1. 一 般 学 科

（1）英語　※ ただし、実用英語技能検定準 2 級以上の資格を有する者は「英語」を免除する。
（2）国語

2. 作　文

試験当日に指定されるテーマについて、自分の考えを述べる。
（原稿用紙に600字～800字で書くこと。）

3. 自 己 P R

自己 PR は当日面接の時に行うか、前日までに動画または PDF で提出すること。内容については問わない。自らの得意なことや、やってみたいことなどを、自分なりの表現でアピールすること。

4. 面　接

5 併願の試験科目について

第一志望が器楽専攻「ピアノ演奏家コース」および音楽総合コース以外の者で、特に希望する者は第二志望として声楽専攻または音楽総合コース（セルフデザインクラスを除く）を併願することができる。また、第二志望のみの受験は認めない。

・併願を志望する者は願書の『志望専攻名』の第二志望欄に［声楽］または［音楽総合コース］と明記すること。
・器楽専攻「ピアノ」「ピアノ・創作コース」および作曲専攻以外を第一志望とする者が声楽専攻を併願する場合は、専攻別試験科目（声楽）のほかに共通試験科目の副科ピアノを受験しなければならない。

3. 海外帰国子女特別入学試験

1 共通試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻、音楽総合コース）

＊音楽総合コース・セルフデザインクラスは除く。セルフデザインクラスの試験科目は3を参照。

1. 楽　典

楽典一般

2. 聴　音

単旋律聴音（8 小節程度）……各専攻共通 2 題

3. 面　接

受験生および保護者（対面式で日本語）

※ 一般学科、コールユーブンゲン、副科ピアノの試験は課さない。

2 専攻別試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻、音楽総合コース）

■声　楽　専　攻

［一般入学試験］専攻別試験科目の課題曲（P.35）と同じ。

■器　楽　専　攻（鍵盤楽器、弦楽器、木管楽器、金管楽器、気鳴楽器、打楽器）

［一般入学試験］専攻別試験科目の課題曲（P.36 ～ P.42）と同じ。

■作　曲　専　攻

［一般入学試験］専攻別試験科目の課題曲（P.42）と同じ。

■音　楽　総　合　コ　ー　ス（セルフデザインクラスを除く）

声楽、ピアノ、その他の器楽（弦楽器、管打楽器）、作曲の中から 1 つを選択する。

※ 各課題詳細は下記を参照のこと。

【実技課題曲】

声　楽

（1）（2）の両方から選曲し演奏時間は**合計 6 分以内**とする。

（1）『コンコーネ 50 番』より第 1 番～第 10 番までの中から任意の 1 曲を選ぶこと。

※ 母音唱法に限る。暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 専攻別曲目記入票には高声・中声・低声の別を○で囲むこと。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。コピー譜に受験者氏名を記入すること。

（2）日本歌曲、イタリア歌曲、ドイツ歌曲の中から任意の独唱曲を 1 曲。

※ 暗譜で歌うこと。

※ 伴奏は高校で用意した伴奏者が受け持つ。

※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。楽譜は書き込みのない鮮明なものを、譜めくりしやすいように製本し、表紙には受験者氏名を記入すること。

ピ ア ノ

自由曲（5 分程度・複数曲可）

※ 暗譜で演奏すること。

※ 複数曲を演奏する場合は、各々の演奏時間を専攻別曲目記入票に記入すること。

※ 一部省略は認めない。ただし、繰り返しはその限りではない。

弦 楽 器

・ヴァイオリンは自由曲（コンチェルト、ソナタ等）とし、クロイツェル、ドント、ローデ、パガニーニ等の練習曲やカプリスも可。
・その他の弦楽器は特に指定なし（自由曲）
※ 暗譜で演奏すること。
※ 伴奏が必要な曲の場合は、伴奏者は高校で用意した伴奏者が受け持つ。
※ 伴奏譜（コピーした楽譜）を出願書類と共に提出すること。表紙には受験者氏名を記入すること。
※ 楽譜は書き込みのない鮮明なもので、出版されている譜面に限ります。

管打楽器（アコーディオンは除く）

いずれの楽器も練習曲を含む自由曲とする。演奏時間は **5分以内**。
※ 暗譜の必要はない。伴奏はなし。

作　　曲

（1）指定された「与えられた動機による楽曲の創作」（**3 時間以内**）。
（2）面接（作曲についての簡単な内容）

3 音楽総合コース・セルフデザインクラス

1. 作　文

試験当日に指定されるテーマについて、自分の考えを述べる。
（原稿用紙に600字～800字で書くこと。）

2. 自己 PR

自己 PR は当日面接の時に行うか、前日までに動画または PDF で提出すること。
内容については問わない。自らの得意なことや、やってみたいことなどを、自分なりの表現でアピールすること。

3. 面　接

4 受験方式

国内在住者および国外在住者どちらも原則「対面式」で実施する。

5 併願について

第一志望が器楽専攻「ピアノ演奏家コース」および音楽総合コース以外の者で、特に希望する者は第二志望として声楽専攻または音楽総合コース（セルフデザインクラスを除く）を併願することができる。また、第二志望のみの受験は認めない。
・併願を志望する者は願書の『志望専攻名』の第二志望欄に［声楽］または［音楽総合コース］と明記すること。
・声楽専攻を併願する場合は、声楽専攻の専攻別試験科目も受験しなければならない。

4. 外国人特別入学試験

＊音楽総合コース、音楽総合コース・セルフデザインクラスは募集しません。

1 共通試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻）

1. 楽　典
楽典一般

2. 聴　音
単旋律聴音（8 小節程度）……各専攻共通 2 題

3. 面　接
受験生（対面式で日本語）
保護者（対面式で日本語か英語）

※ 一般学科、コールユーブンゲン、副科ピアノの試験は課さない。

2 専攻別試験科目（声楽専攻、器楽専攻、作曲専攻）

■声　楽　専　攻
［一般入学試験］専攻別試験科目の課題曲（P.35）と同じ。

■器　楽　専　攻（鍵盤楽器、弦楽器、木管楽器、金管楽器、気鳴楽器、打楽器）
［一般入学試験］専攻別試験科目の課題曲（P.36 ～ P.42）と同じ。

■作　曲　専　攻
［一般入学試験］専攻別試験科目の課題曲（P.42）と同じ。

3 受験方式

国内在住者および国外在住者ともに原則「対面式」で実施する。

4 併願について

第一志望が器楽専攻「ピアノ演奏家コース」以外の者で、特に希望する者は第二志望として声楽専攻を併願することができる。
また、第二志望のみの受験は認めない。
・併願を志望する者は願書の『志望専攻名』の第二志望欄に［声楽］と明記すること。
・声楽専攻を併願する場合は、声楽専攻の専攻別試験科目も受験しなければならない。

TCM
Tokyo College of Music High School
東京音楽大学付属高等学校

〒171-8540 東京都豊島区南池袋 3-4-5
TEL. 03-3988-6214
FAX. 03-3982-9273
fuzoku_koko@tcm-koko.ed.jp
http://tcm-koko.ed.jp